

製品名: BTK マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80590**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	77kDa

抗原情報

遺伝子名	BTK
別名	BTK
遺伝子 ID	695.0
SwissProt ID	Q06187
免疫原	大腸菌で発現した BTK の精製された組み換え断片。

背景

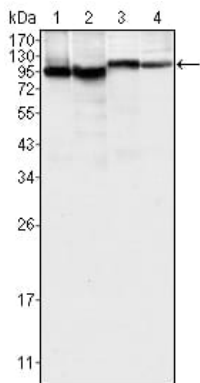
ブルトンチロシンキナーゼ (BTK) は、細胞質チロシンキナーゼの BTK/Tec ファミリーのメンバーです。このファミリーのメンバーはすべて SH3 ドメインと SH2 ドメインを有し、Txk と Dsrc28C を除き、アミノ末端にプレクストリン相同ドメイン (PH ドメイン)

と Tec 相同ドメイン (TH ドメイン) も含みます。BTK は B 細胞の発生において重要な役割を果たします。様々なリガンドによる B 細胞の活性化は、BTK の PH ドメインがホスファチジルイノシトール-3,4,5-トリスリン酸に結合することで、BTK の膜移行を伴います。膜タンパク質である BTK は活性型であり、2 つのチロシン残基 (Tyr551 と Tyr223) が一時的にリン酸化されます。活性化ループ内の Tyr551 は Src ファミリーチロシンキナーゼによってトランスリン酸化され、完全な活性化に必要な SH3 ドメイン内の Tyr223 の自己リン酸化を引き起こします。

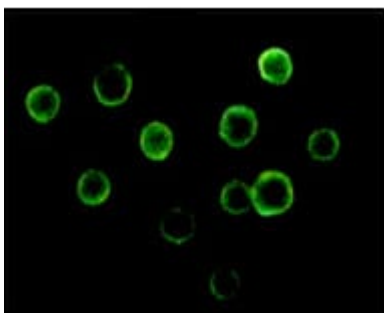
研究分野

アポトーシス、TGF- β シグナル伝達経路

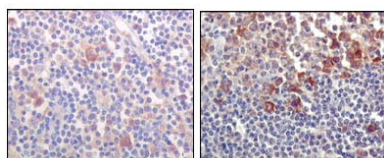
画像データ



K562 (1)、MCF-7 (2)、Jurkat (3)、および HEK293 (4) 細胞溶解物に対する BTK マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



BTK マウス mAb を使用した Jurkat 細胞の免疫蛍光分析。



パラフィン包埋ヒトリンパ節組織 (左) とヒトリンパ濾胞組織 (右) の免疫組織化学分析。BTK マウス mAb と DAB 染色を使用して細胞質と膜の局在を示しています。